



個人投資家向け IRセミナー

(2021年11月)

ウイン・パートナーズ株式会社 (3183)

代表取締役社長 秋沢 英海

ウイン・パートナーズとは

自己紹介



あきざわ ひでうみ
秋沢 英海 (60歳)

- 1960年12月 高知県室戸市生まれ
学生時代は剣道に打ち込む (剣道四段)
- 1983年 3月 京都産業大学卒業
- 同年 4月 西本産業(株)入社
(現 キヤノンライフケアソリューションズ(株))
- 1992年 9月 (株)タクミコンサーンへ営業部長として入社
(現 (株)ウイン・インターナショナル)
- 1993年 2月 (株)ウイン・インターナショナルに社名変更
- 1994年 5月 代表取締役社長に就任
- 2002年 9月 株式を店頭登録
- 2013年 4月 ウイン・パートナーズ(株)を設立
代表取締役社長に就任
- 2014年 9月 東証一部上場

企業理念とビジョン

企業理念

すべての人にベター・クオリティ・オブ・ライフを提供し、豊かな社会の実現に貢献します。

いまだかつてない超高齢化社会を迎える日本で、すべての人が生涯にわたり、健康で充実した日々を送れるよう、健康幸福寿命の伸長に貢献することが、ウイン・パートナーズグループの社会的使命です。

企業ビジョン

新しいニーズを創造し、次世代医療関連ビジネスのリーディングカンパニーを目指します。

低侵襲医療の黎明期からその普及を支えてきた私たちは、今後も新しい市場を開拓し、持続的な成長を実現します。医療財源の効果的、効率的な配分が求められている今、強いリーダーシップを持って、最良の医療を提供しつつ、医療費を適正化するという社会的課題にも挑戦し続けます。

独立系の医療機器商社グループ



グループの歴史

1983年 6月 (株)タクミコンサーン設立

1993年 2月 商号を(株)ウイン・インターナショナルに変更

2002年 9月 日本証券業協会に株式を店頭登録

2013年 4月 ウイン・パートナーズ(株)設立
ジャスダック上場

2014年 5月 東証二部上場

同年 9月 東証一部上場

2017年10月 (株)大沢商事をグループ化
(2017年11月1日付でテスコ秋田販売(株)に社名変更)

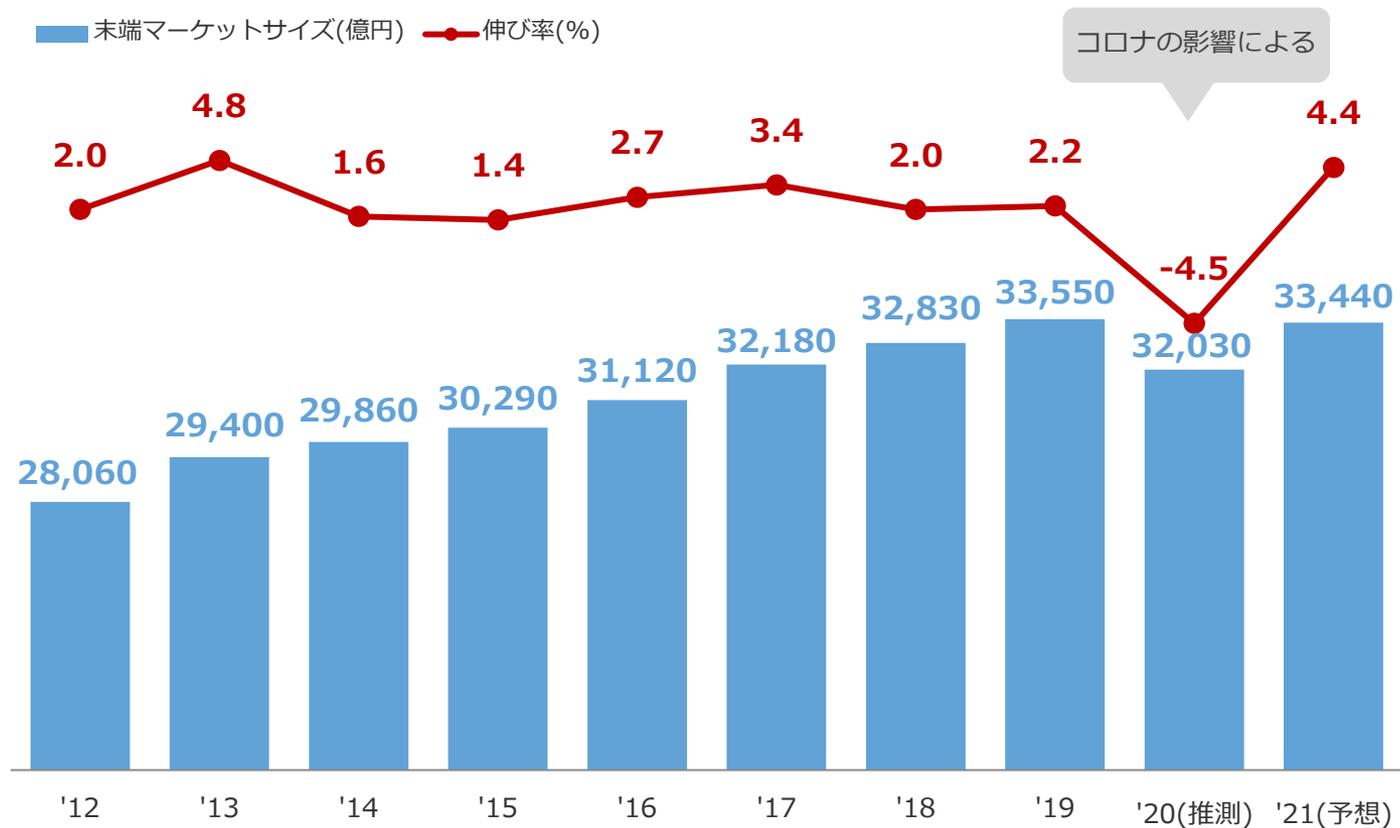
2018年 7月 テスコ秋田販売(株)をグループ化

同年12月 (株)エムシーアイをグループ化

医療機器市場と医療機器商社業界

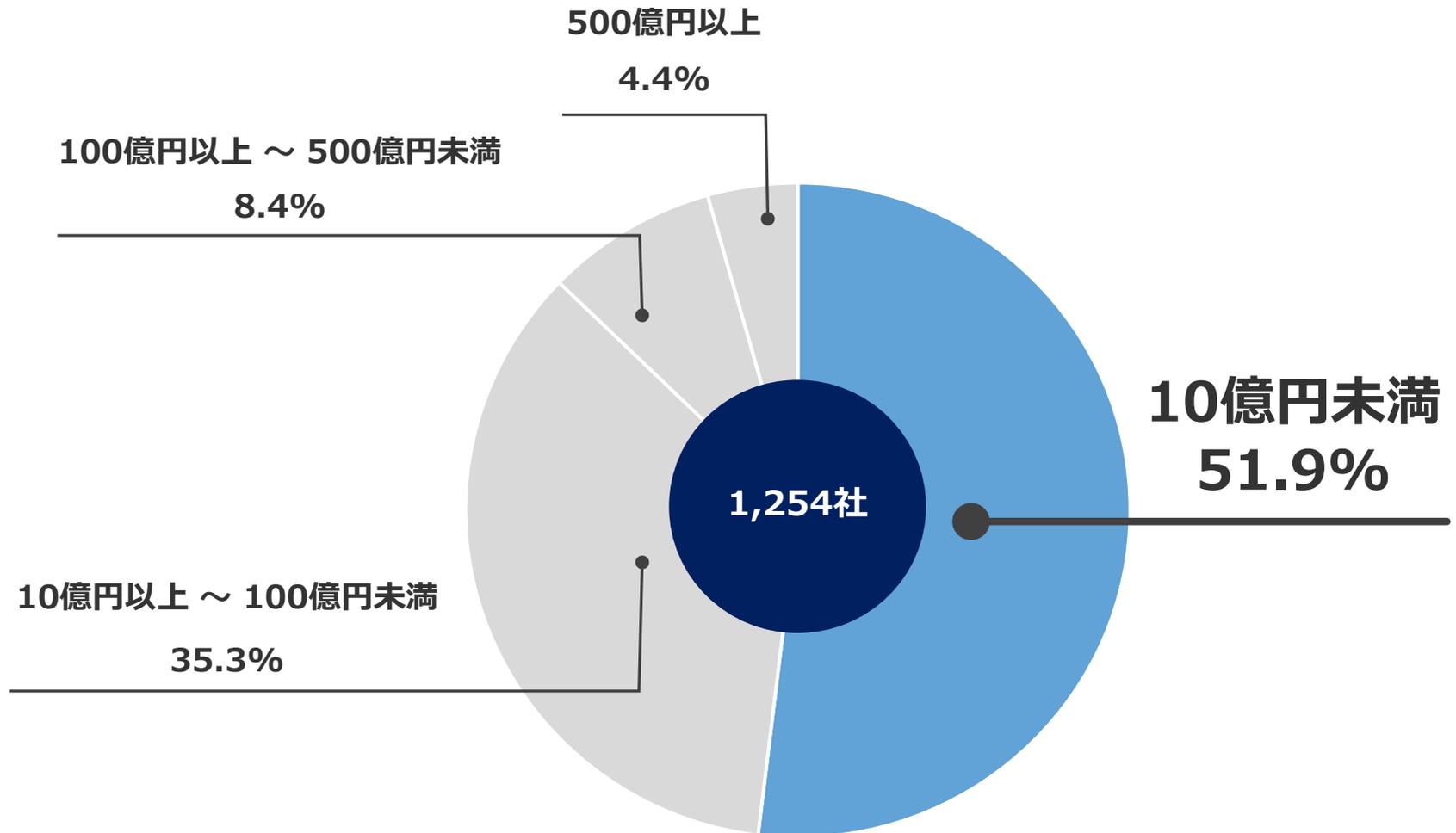
医療機器市場

医療機器・用品の末端市場規模と伸び率の推移



医療機器商社の売上分布

1,000社以上が存在する、細分化された市場



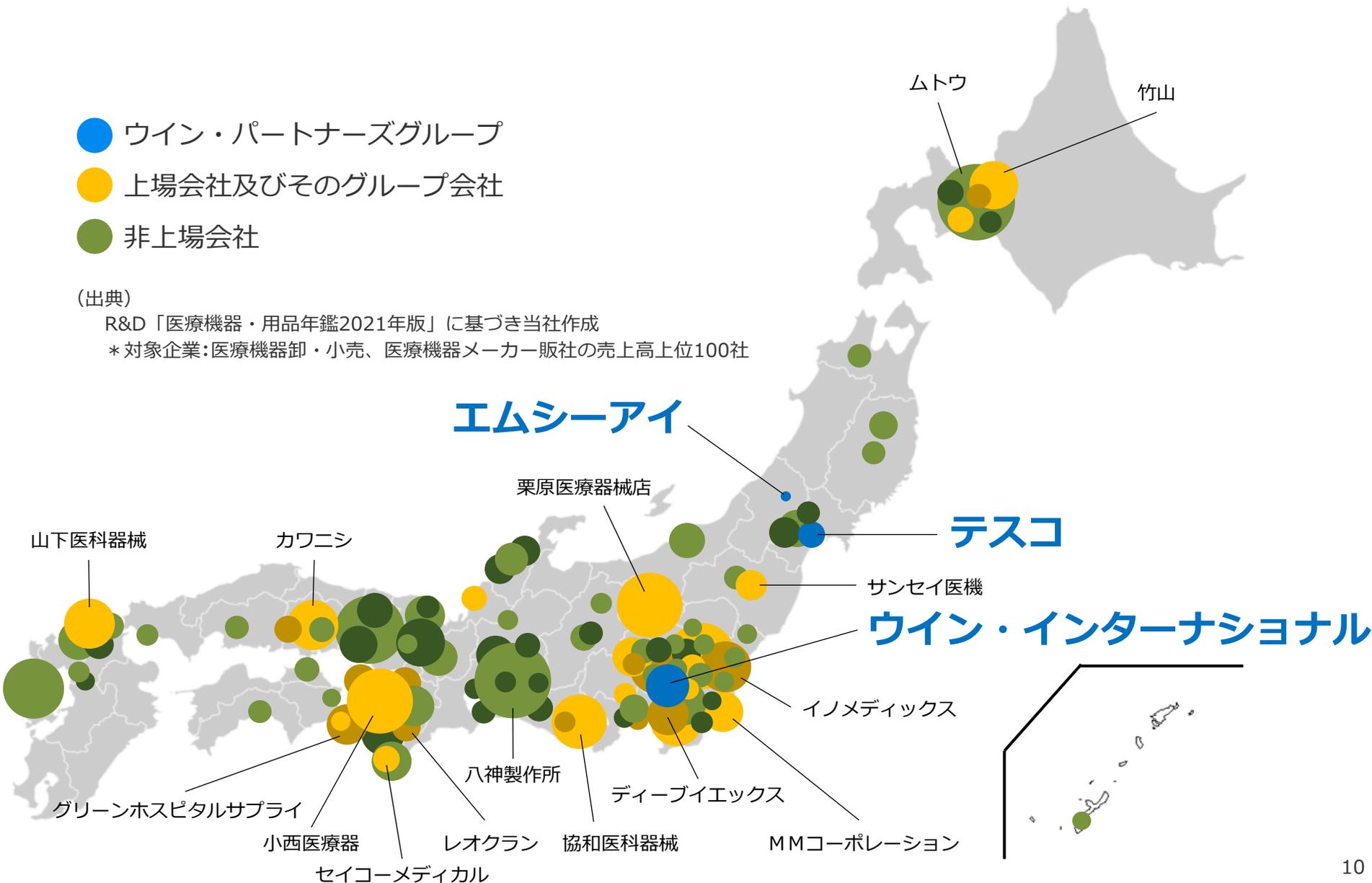
医療機器商社業界マップ

- ウイン・パートナーズグループ
- 上場会社及びそのグループ会社
- 非上場会社

(出典)

R&D「医療機器・用品年鑑2021年版」に基づき当社作成

* 対象企業: 医療機器卸・小売、医療機器メーカー販売の売上高上位100社



当社事業の特徴

「低侵襲」医療機器

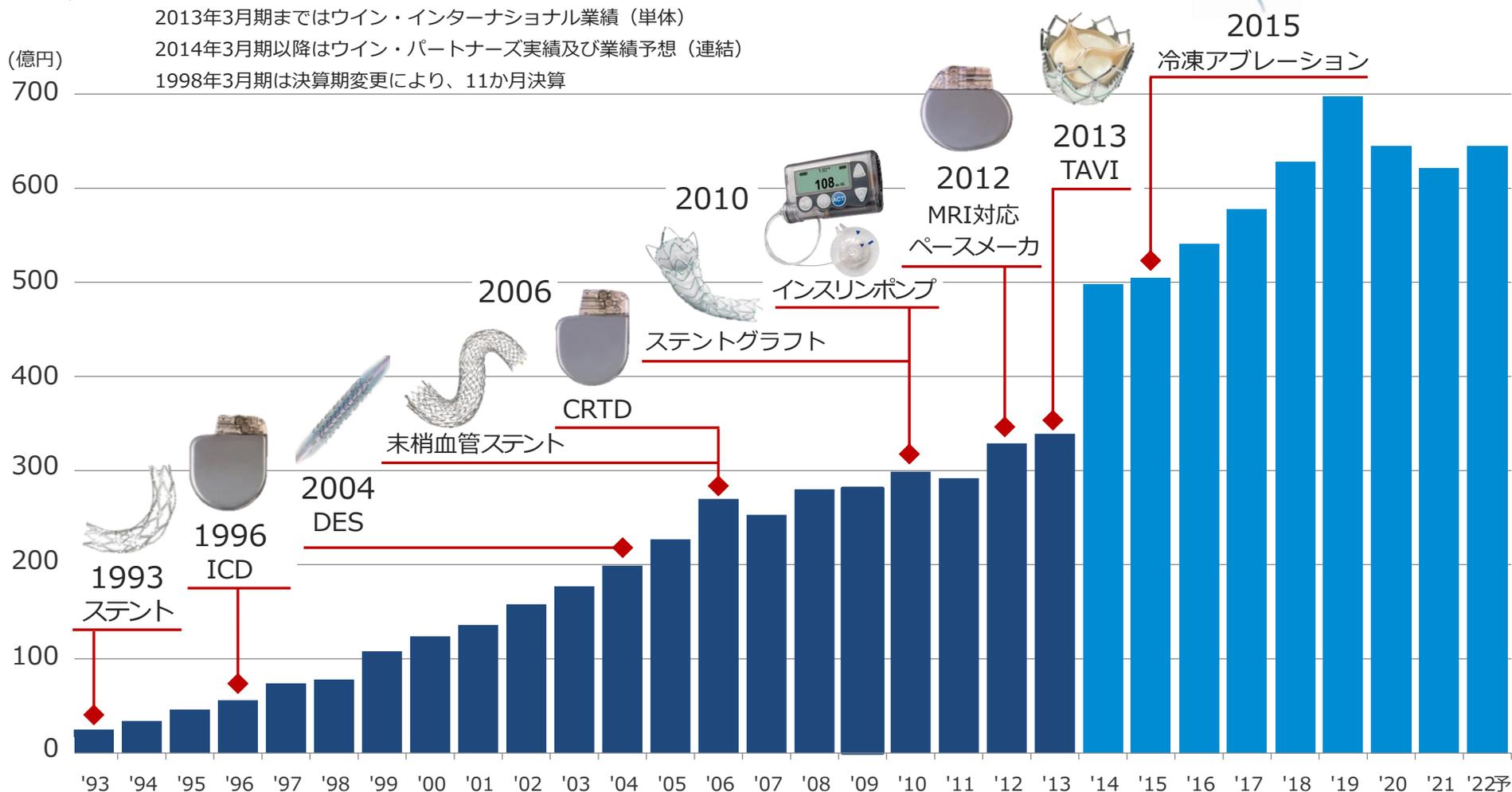
検査や治療の際に生じる、痛みや出血などの
身体への負担がより少ない

(代表例)

- ◆ カテーテル血管内治療
- ◆ 内視鏡手術
- ◆ ロボット手術
- ◆ 再生医療 等

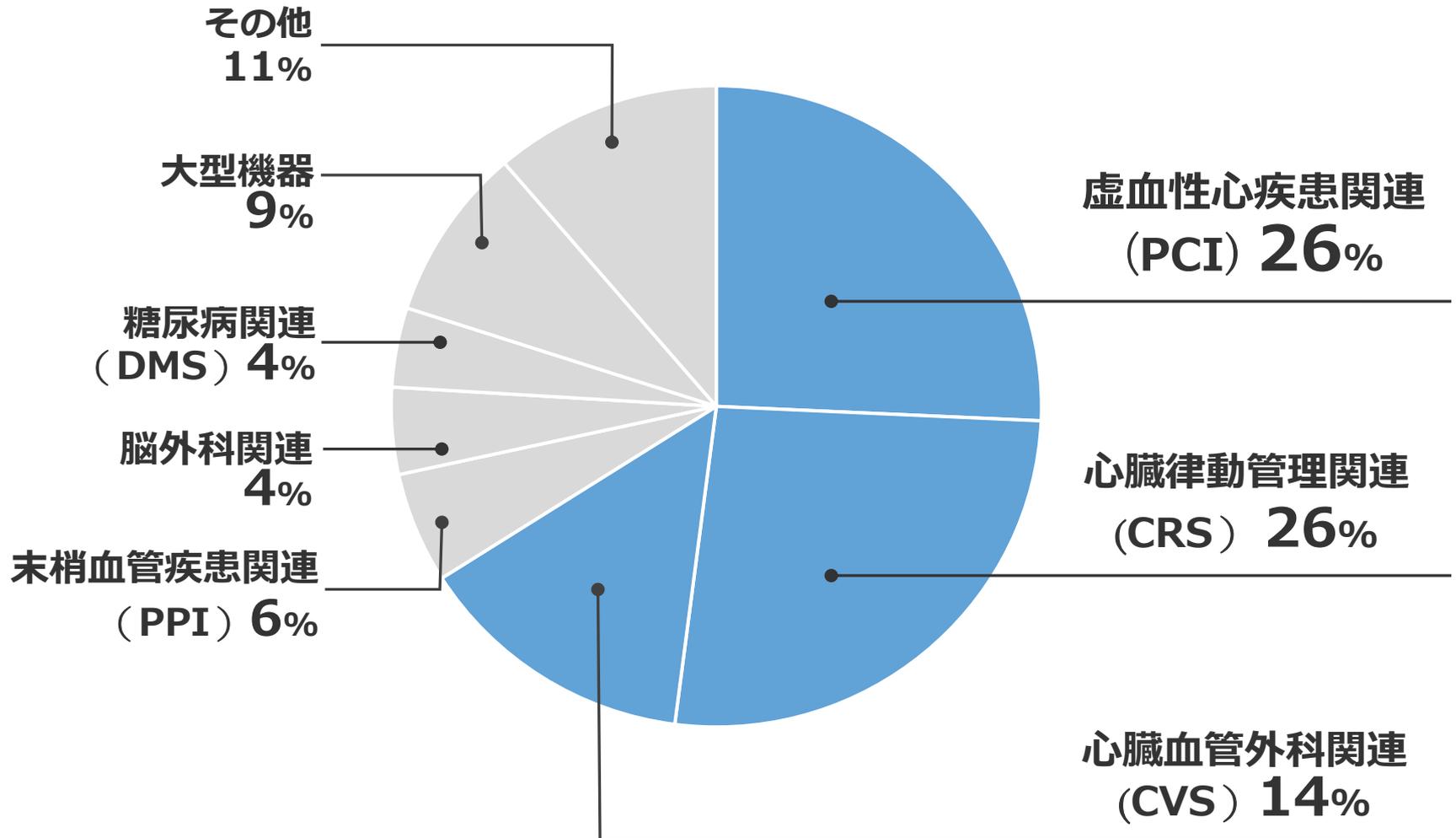
低侵襲医療の拡大とともに成長

売上高の推移



心臓関連が売上高の約7割

(2021年3月期)

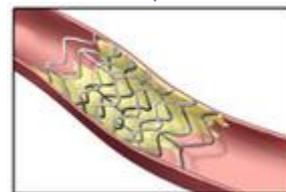
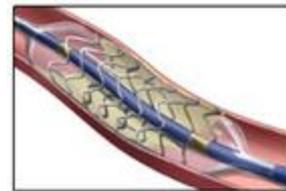
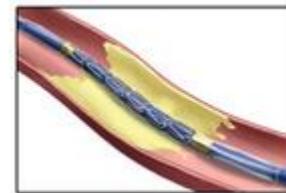
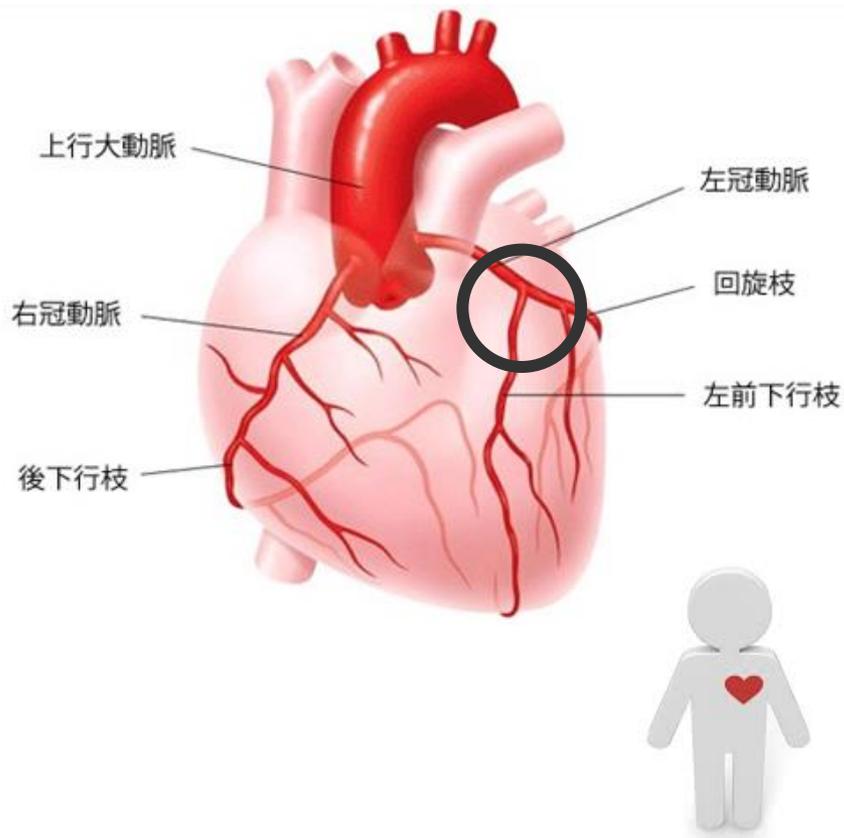


取扱製品について

虚血性心疾患関連 (PCI)

心筋梗塞・狭心症を治療する医療機器

薬剤溶出型ステント (DES)



表面に塗布された薬剤が
再狭窄を防止

心臓律動管理関連 (CRS)

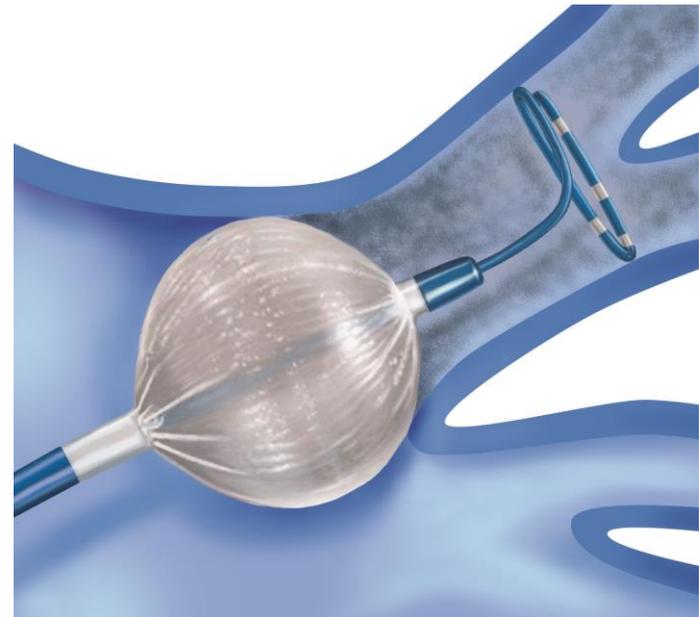
不整脈を治療する医療機器

ペースメーカー



体内に植え込んで心臓に
電気刺激を送る

冷凍アブレーションカテーテル

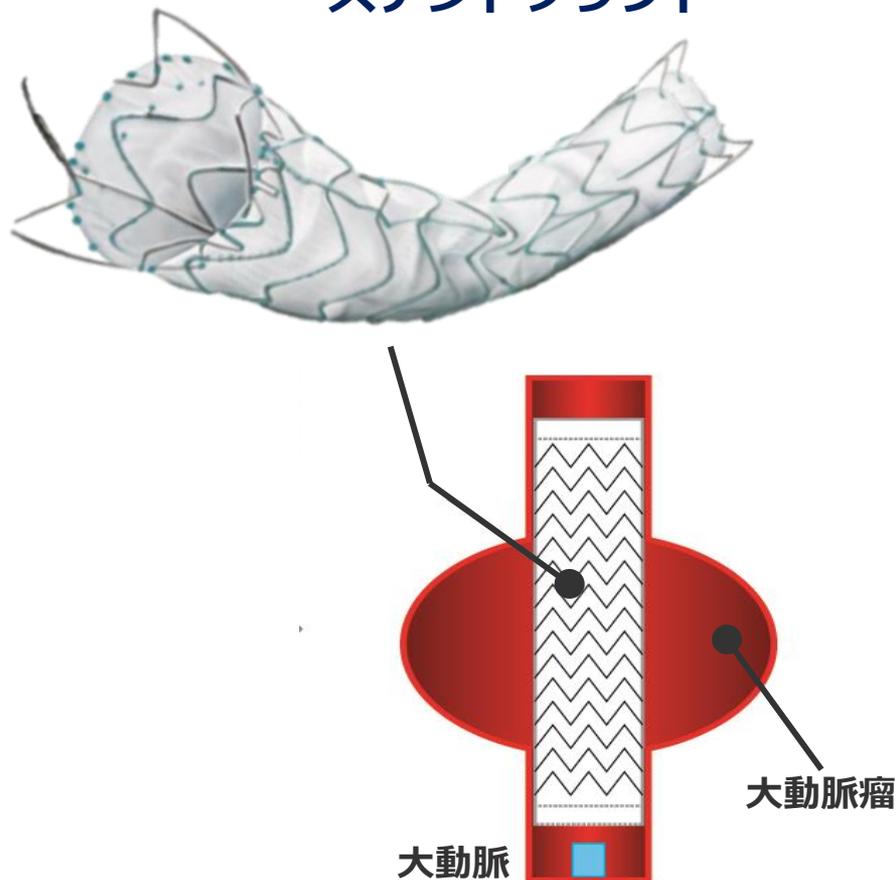


不整脈を引き起こす組織を冷凍す
ることによって心房細動を治療

心臓血管外科関連 (CVS)

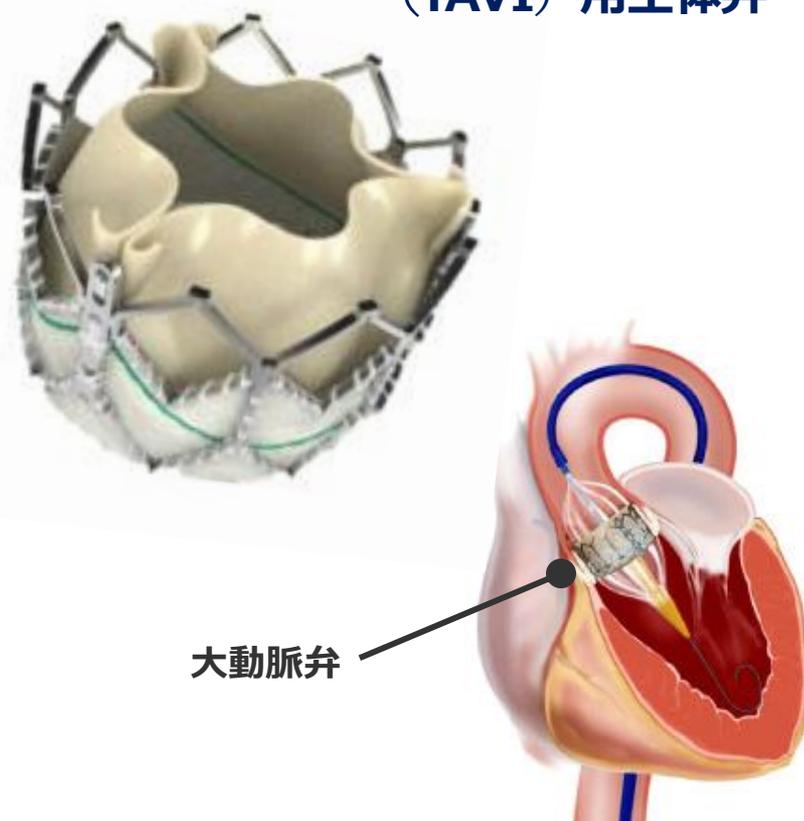
大動脈瘤・弁膜症等を治療する医療機器

ステントグラフト



ステントグラフトで大動脈瘤への血流を遮断

経カテーテル大動脈弁留置術 (TAVI) 用生体弁



カテーテルで生体弁を大動脈弁の位置に留置

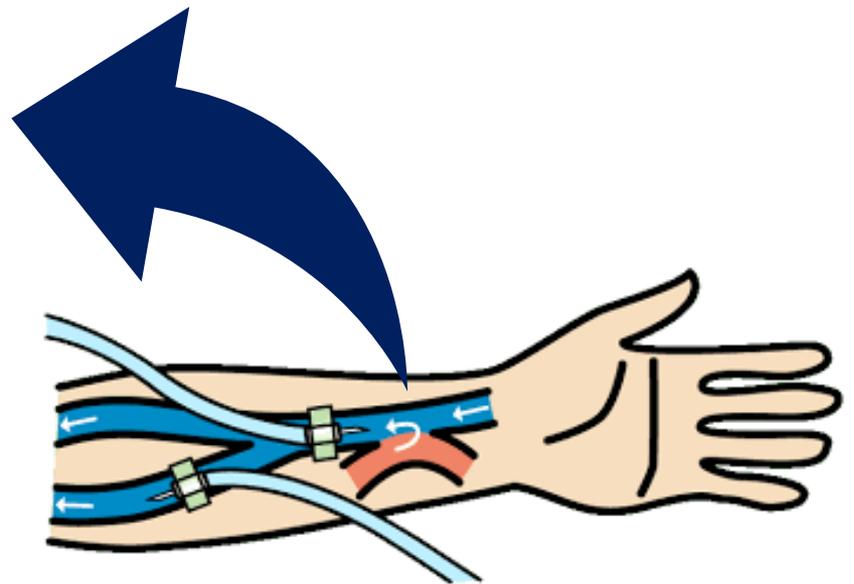
末梢血管疾患関連 (PPI)

心臓以外の血管疾患を治療する医療機器

PTAバルーンカテーテル

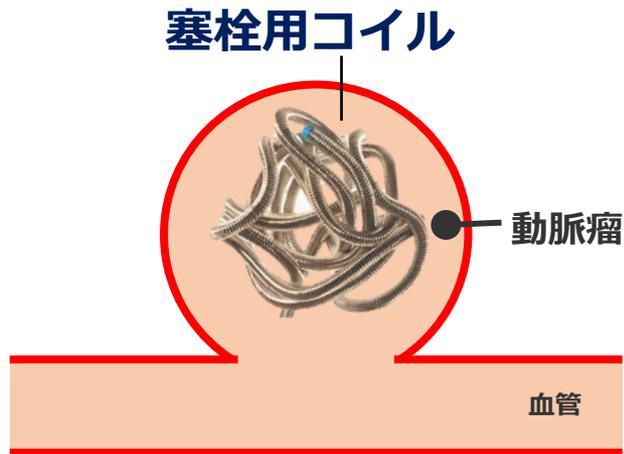


人工透析の影響で狭くなった
シャントの治療

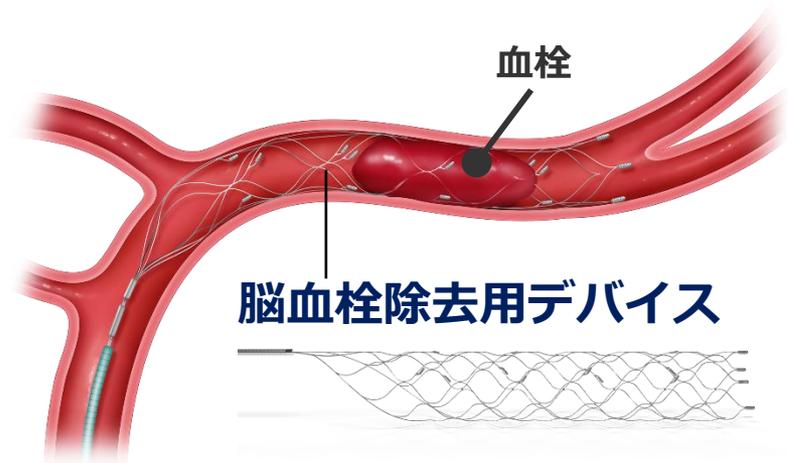


脳外科関連

脳の血管を血管内から治療する医療機器



脳の動脈にできた瘤（血管のこぶ）に金属製のコイルを詰め破裂するのを防ぐ



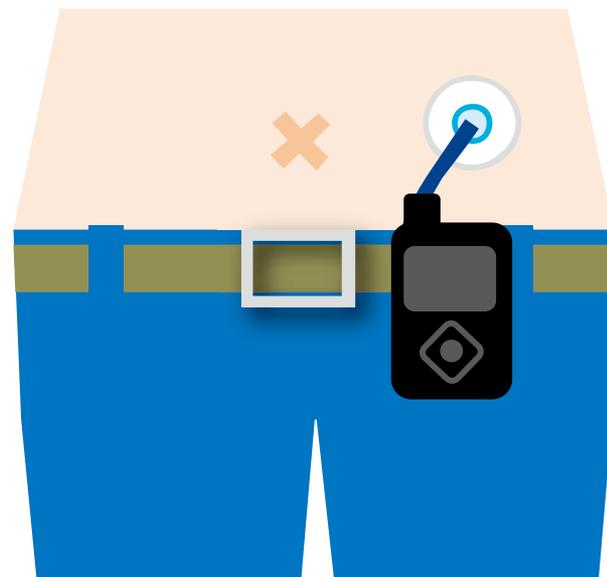
脳の血管内にできた血栓をカテーテルの先端に付いたステントで絡めとり、血流を再開させる



糖尿病関連 (DMS)

糖尿病を治療する医療機器

インスリンポンプ

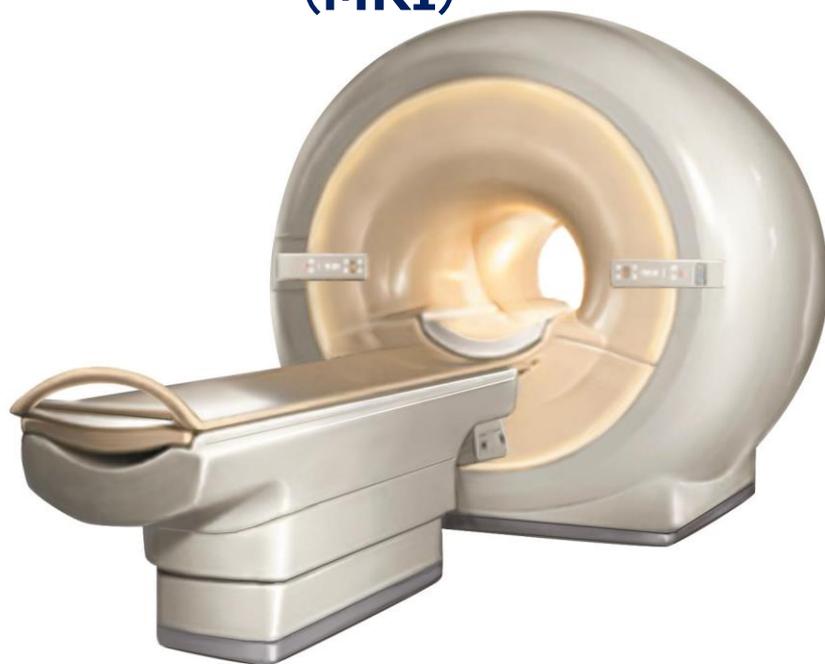


ポンプからインスリンを持続的に体内に注入

医療機器関連

診断・検査用機器など

磁気共鳴画像診断装置
(MRI)



手術室等の設計施工



当社の強み

顧客支援

- ◆ 医療現場支援～安全・的確に医療機器を供給
 - 適正使用支援
 - 医療機器・材料の在庫管理

- ◆ 集患支援～顧客とともに成長する
 - 市場調査に基づく集患提案
 - 施設認定の取得支援
 - 人材紹介 など

低侵襲医療機器が取り扱いの中心

狭心症・心筋梗塞



ステント

不整脈



ペースメーカー

大動脈瘤



ステントグラフト

シャント治療



PTAバルーンカテーテル

脳動脈



塞栓用コイル

糖尿病



インスリンポンプ

財務体質

◆ 自己資本比率 52.6% (2021年3月期末)

- 業界平均は38% (医療機器商社上場9社の直近の決算期末での平均)

◆ 現預金が総資産の43% (2021年3月期末)

- 業界再編に機動的に対応

業績動向

2022年3月期 第2四半期累計 業績概要

(単位：百万円)

	前期2Q累計実績	当期2Q累計実績	前年比(%)	期初計画	計画比(%)
売上高	27,883	31,144	+11.7	31,000	+0.5
営業利益	830	1,175	+41.5	1,050	+12.0
経常利益	837	1,179	+40.8	1,050	+12.3
当期純利益	572	799	+39.6	710	+12.6
1株当たり四半期純利益(円)	19.95	27.86			
1株当たり純資産(円)	701.94	730.51			

2022年3月期 第2四半期累計 業績のポイント

- 7月後半以降、新型コロナウイルス感染急拡大の影響を受けたが、全ての分類で増収となり、売上は計画を達成
- 仕入れ交渉の強化などで、収益性改善
- 販売管理費用は想定ほど増えず、営業利益は計画を超過

分類別売上高

(単位：百万円)	売上高	前年比(%)	
		数量	金額
虚血性心疾患関連 (PCI)	8,233	+6.0	+9.6
心臓律動管理関連 (CRS)	8,334	+6.4	+6.4
心臓血管外科関連 (CVS)	4,639	+10.0	+15.1
末梢血管疾患関連 (PPI)	1,811	+10.4	+11.0
脳外科関連	1,352	+6.8	+7.0
糖尿病関連 (DMS)	1,316	-	+12.7
医療機器関連	2,836	-	+43.0
その他	2,618	-	+6.6
合計	31,144	-	+11.7

2022年3月期 通期業績見通し

- 医療提供体制はしだいに正常化へ
- 外来患者の増加、先送りされていた手術などの戻りも予想される
- 顧客病院への訪問規制も徐々に緩和へ

2022年3月期 通期計画

2022年3月期	金額 (百万円)	前年比 (%)	百分比 (%)
売上高	64,500	+3.8	100.0
営業利益	2,500	+10.9	3.9
経常利益	2,500	+10.3	3.9
当期純利益	1,700	+10.3	2.6
1株当たり当期純利益(円)	59.22		
1株当たり配当金(円)	35.00		

分類別 売上高計画

(単位：百万円)	売上高	前年比(%)
虚血性心疾患関連 (PCI)	17,590	+10.1
心臓律動管理関連 (CRS)	17,420	+6.5
心臓血管外科関連 (CVS)	9,270	+6.9
末梢血管疾患関連 (PPI)	3,650	+5.2
脳外科関連	2,970	+9.3
糖尿病関連 (DMS)	2,650	+6.5
医療機器関連 ※	5,600	-9.6
その他	5,350	-14.4
合計	64,500	+3.8

※ 今期より大型機器と中小型機器を合わせて「医療機器関連」と記載

成長戦略

今後の成長に向けて

- **物流改革の推進**

物販管理システムの開発とWIN Heart Gate 建設

- **CRSへの注力**

アブレーションのスペシャリストを育成

- **エリアの拡大**

M&Aなど業容拡大に向けた調査継続

WIN Heart Gate について



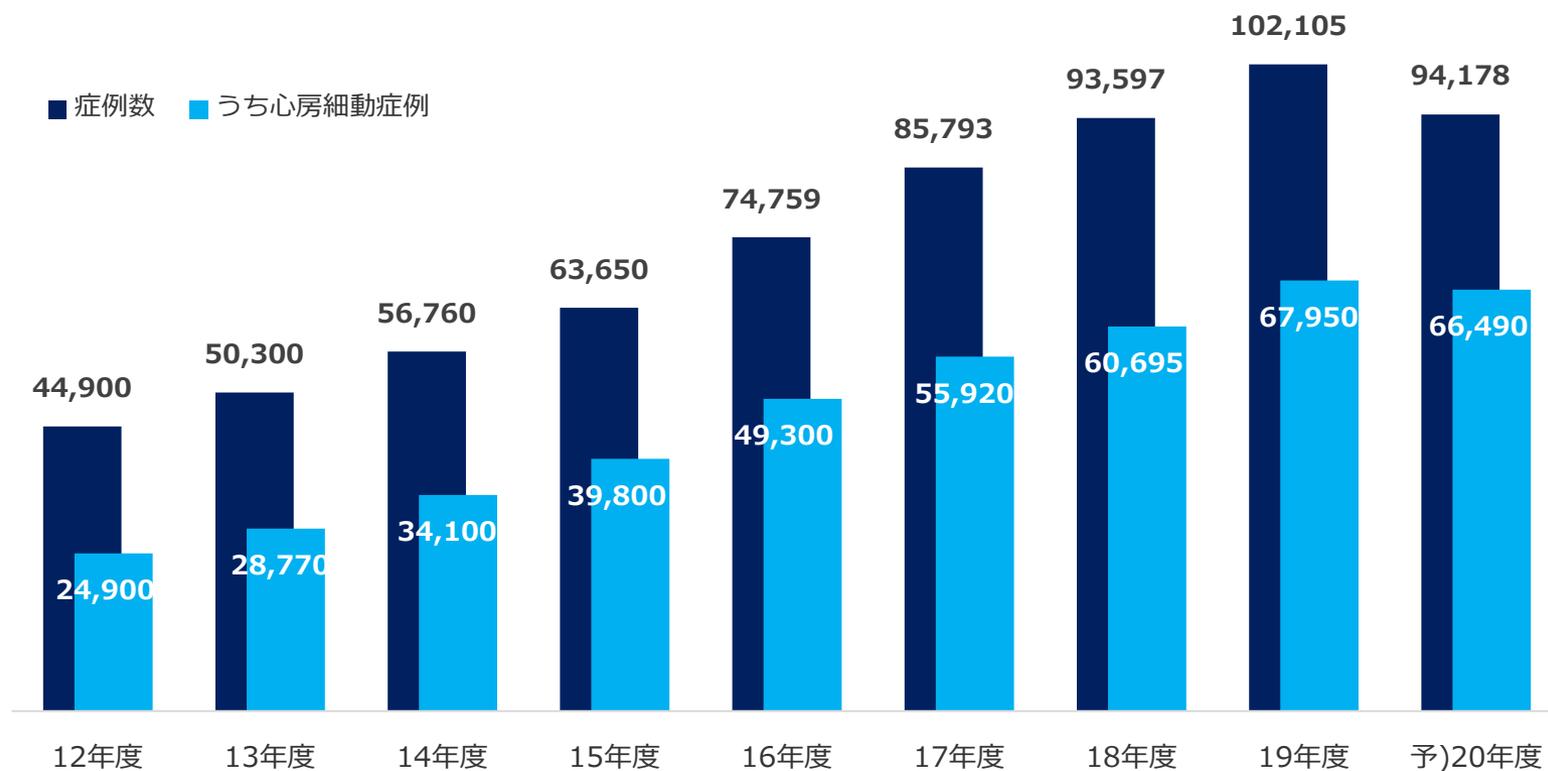
WIN Heart Gate の目的

首都圏の営業拠点をカバーし、物流業務を効率化

- 商物分離
- RFID（ICタグ）の活用
 - －在庫管理業務効率改善
 - －トレーサビリティの向上
 - －在庫ロスの低減
- 配送コストの削減 など

CRSへの注力

経皮的アブレーション（うち心房細動症例）推定症例数

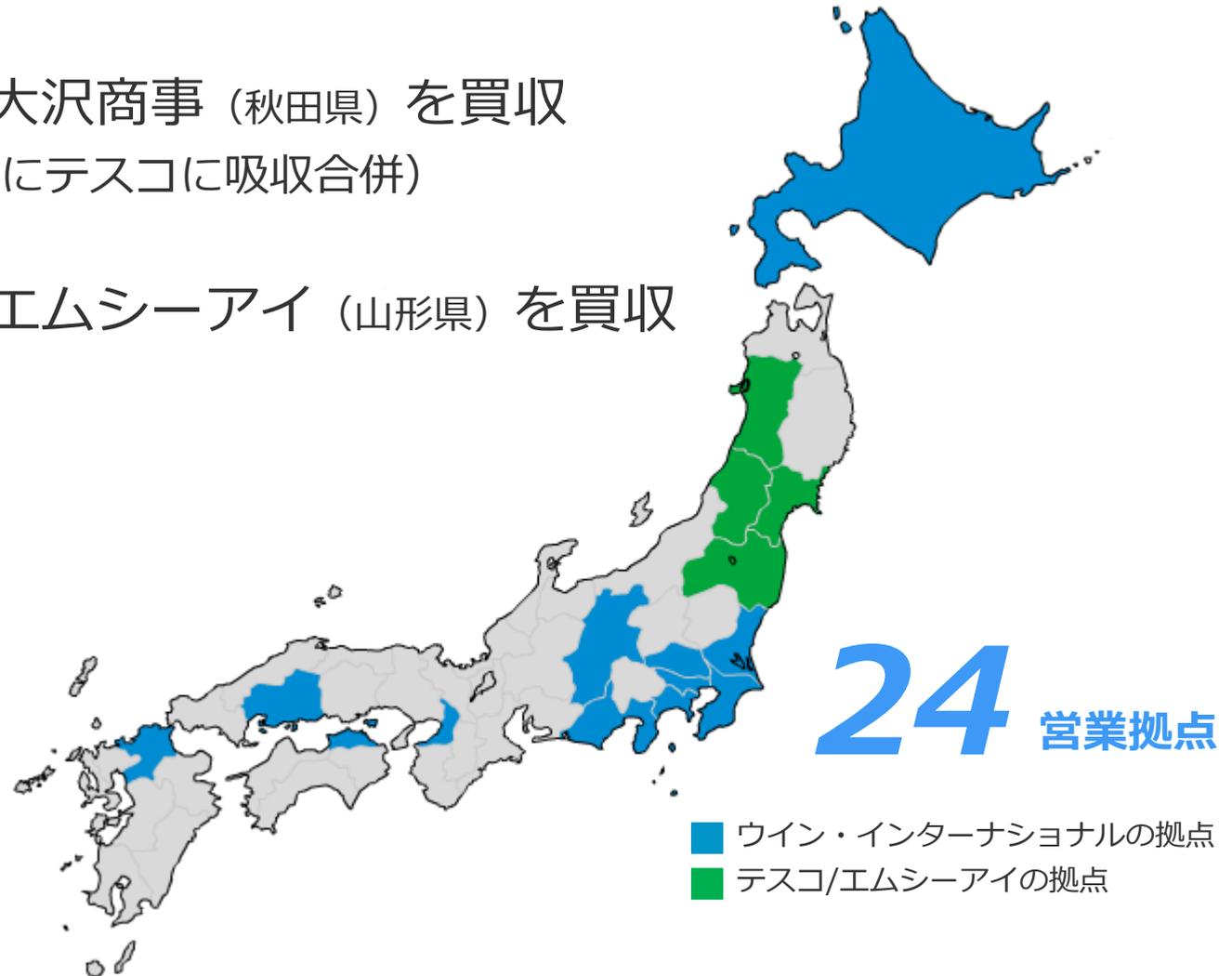


出典：矢野経済研究所「2020年版 カテーテル&チューブ、IVR製品市場の中期予測と関連製品の徹底分析」一部推定含む

エリア拡大

M&Aも積極活用

- 2017年10月大沢商事（秋田県）を買収
（2018年7月にテスコに吸収合併）
- 2018年12月エムシーアイ（山形県）を買収



SDGsへの取り組み

「KIRARIS」発足

KIRARIS = 「KIRARI = 輝き」 + 「RISE = 上昇」

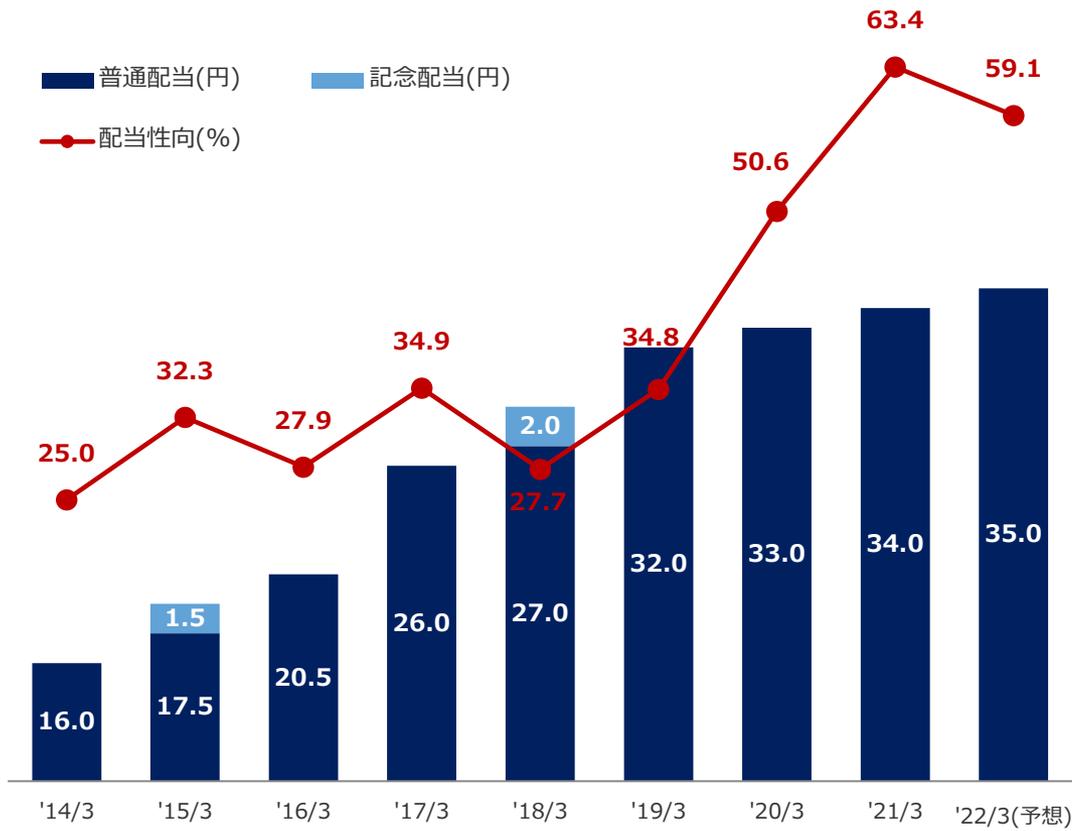
「仕事と家庭を両立できる環境の整備」、「女性活躍の推進」等を実現するべく、相談窓口の設置や社内研修の実施などを経営層に提案・提言。



株主還元と株価

株主還元

配当と配当性向の推移



株主優待



- 保有株式数 100株 (1単位) 以上
- 優待品の内容 クオカード 1,000円分
- 発行基準日 毎年3月末日
- 贈呈の時期 6月下旬

株価推移

(単位：円)



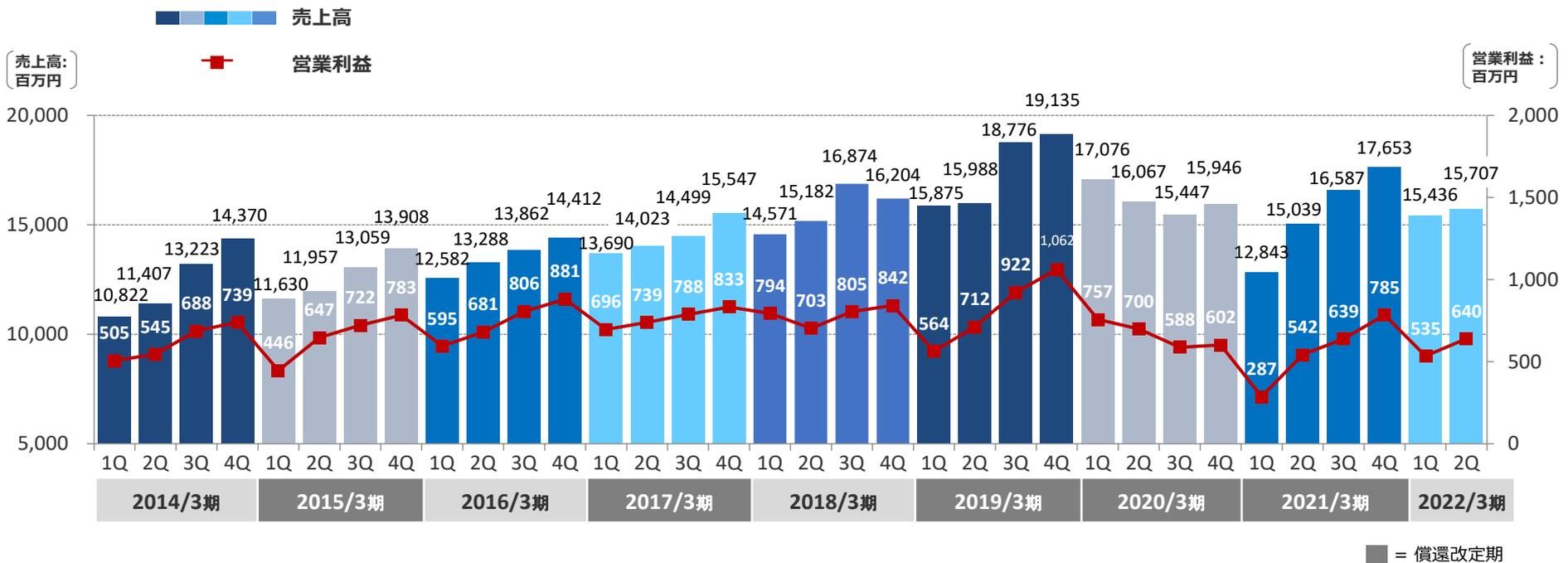
參考資料

会社プロフィール

- 証券コード : 3183 (東証一部)
- 本社 : 東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン21階
- 資本金 : 5億5千万円
- 事業内容 : 医療機器販売等 (連結ベース)
- 代表者及び役員構成 : 代表取締役社長 秋沢 英海
他、取締役 8名 (内、社外取締役 4名)
内、監査等委員である取締役 3名
- 連結子会社 : (株)ウイン・インターナショナル、テスコ(株)、(株)エムシーアイ
※3社は100%子会社
- 従業員数 : 連結547名 (2021年3月31日現在)
- 発行済株式数 : 30,503,310株 (自己株式1,795,073株を含む)

四半期業績推移

売上高／営業利益の推移（四半期）



專門用語集

専門用語集①

【医療全般】

・保険診療

医療保険で認められた検査や治療のこと。保険診療の内容や価格は国が決定する。

・診療報酬

医療機関等が保険診療を行った際に受け取る報酬のこと。（医療技術、薬剤、医療機器等）。価格は国が決定し、2年に1度見直される。

・保険償還価格

特定保険医療材料等の公定価格。国が2年に1度見直しを行う。

【医療業界】

・低侵襲治療

熱・出血・苦痛などの身体的負担（侵襲）を、できるだけ少なくした治療法。分りやすく言えば「切らない治療法」。身体への負担軽減によって、治療期間の短縮、医療費の抑制等が期待できる。

・適正使用支援

医療機器は多種多様であり、また複雑化している為、医療現場では最適な機器の選択、添付文書に基づいた使用方法の説明、手術準備、在庫管理までの一連の支援が必要とされる。これらを総称して“適正使用支援”と呼ぶ。

・急性期

患者の状態は、急性期・回復期・慢性期等に分類される。急性期とは、急激な症状の発生や悪化で治療の緊急性の高い時期のこと。急性期では、高度で専門的な治療が必要となる。

・回復期

急性期から脱し、病状が安定している時期のこと。回復期では、身体機能の回復を図り、在宅復帰に向けた治療が行なわれる。

・慢性期

病状は比較的安定しているが、継続的な治療が必要な時期のこと。慢性期の治療では、入院が長期となる傾向がある。

・循環器内科

血液を循環させている心臓と血管の病気を専門的に扱う内科。通常、内科は投薬や検査が中心だが、循環器内科はカテーテル治療も行う。心臓と血管の病気に対し、外科的治療（手術）を行うのが心臓血管外科である。

【PCI】

・PCI（Percutaneous Coronary Intervention：経皮的冠動脈インターベンション）

一般的には心臓カテーテル手術とも言われる。皮膚から（経皮的）、血管内にカテーテル等の医療機器を挿入し、狭くなった血管（冠動脈）を押し広げ、血流を回復させ心筋梗塞や狭心症を治療する方法。当社グループのセグメントのひとつ（虚血性心疾患関連）。

専門用語集②

・虚血性心疾患

血管内部が狭窄（狭くなること）や閉塞することによって血液の流れが悪化し、血液不足となることを「虚血」という。虚血性心疾患とは、心臓が虚血になることで起きる病気であり、主なものに狭心症や心筋梗塞がある。

・狭心症

冠動脈が狭窄することで、血流が悪くなり、心筋が一時的に酸素不足・栄養不足の状態となった時に起きる病気。

・心筋梗塞

冠動脈が閉塞することなどで、血流が途絶え、心筋が一定時間以上、酸素不足・栄養不足の状態となった時に起きる病気。心筋が壊死してしまい、治療が遅れると生命の危険がある。

・PTCA（Percutaneous Transluminal Coronary Angioplasty：経皮的冠動脈形成術）

経皮的に、狭くなった血管を広げ、正常に近づける（形成）治療が開始された頃の血管内治療の総称。近年では、PCI（経皮的冠動脈インターベンション）と同じ意味で使われることが多い。

・PTCAバルーンカテーテル

カテーテルの先端に風船がついたもので、風船を拡張させ狭くなった血管を広げる。

・ステント

金属製の網状の筒のこと。バルーンカテーテルの先端に折り畳まれた状態で付いており、風船を拡張させるとステントは筒状になり、血管を広げる。広がったステントは内部から血管を支え続け、再狭窄（再び狭くなること）を防ぐ。

・薬剤溶出性バルーン（DEB：Drug Eluting Balloon）

形状・使用方法等はPTCAバルーンカテーテルと同じだが、バルーン部分の表面に再狭窄を抑制する薬剤が塗布されている。ステントを留置することなく治療が可能。

・薬剤溶出型ステント（DES：Drug Eluting Stent）

形状・使用方法等はステントと同じだが、表面には再狭窄を抑制する薬剤が塗布されていて、ステントを血管内で広げると、薬が血管内に溶け出す。通常のステントより再狭窄を防止することができる。

【CRS】

・CRS（Cardiac Rhythm Segment：心臓律動管理関連）

心臓の収縮リズムの異常である不整脈を治療する分野。当社グループのセグメントのひとつ。

・不整脈

心臓の収縮リズムが乱れることを不整脈という。リズムが遅くなり過ぎることを「徐脈」、速くなり過ぎることを「頻脈」という。心臓は収縮することで全身に血液を送り出しているが（ポンプ機能）、リズムが乱れると十分な血液が供給できなくなり、めまいや動悸など様々な症状が出る。

専門用語集③

・心室細動（細動）

頻脈のひとつ。心臓が震えるだけとなって収縮ができず心臓が停止したのと同じ状態となる。突然死の直接的な原因となるため、致死性不整脈と呼ばれる。

・心房細動

頻脈の一つ。心房が小刻みに震えることで心房内に血栓が生じ、それが血流にのって全身に血栓症を引き起こしやすいといわれている。

・除細動

心室細動等の致死性の不整脈を停止させ、突然死を防ぐ治療法。公共施設等に設置されたAED（自動体外式除細動器）は、電気ショックによって除細動を行う医療用電子機器。

・心筋焼灼術（アブレーション）

不整脈の治療法のひとつ。カテーテルを用いて、不整脈を引き起こす原因箇所を高周波で焼灼し治療する。また、バルーンカテーテルを用いて、冷凍焼灼する方法もある。

・ペースメーカー

脈が遅くなる不整脈（徐脈）の発生を感知して、心筋に電気刺激を送り、一定の収縮リズムを保つ医療機器。ペースメーカーは、心臓の動きを常にモニターし、電気刺激を発生する本体部分と電気刺激を心臓に伝えるためのリード（導線）から構成されている。本体を鎖骨下の皮下に植込み、リードで心臓と繋いで使用する。

・ICD（Implantable Cardioverter Defibrillator：植込み型除細動器）

基本構造等はペースメーカーに類似。脈が異常に速くなる致死性の不整脈の発生を感知して、心筋に電気ショックを送り、不整脈を停止させて突然死を防ぐ医療機器。

・CRTD（Cardiac Resynchronization Therapy Defibrillator：両室ペーシング機能付き植込型除細動器）

基本構造等はペースメーカーに類似。心臓の左右の心室（下の方の部屋）の収縮のタイミングのズレを感知し、心筋2か所に電気刺激を送り、ズレを解消させる医療機器。致死性の不整脈を止めるICDの機能も備わっている。

・EP（Electrophysiology study：電気生理検査）用カテーテル

カテーテルの先端に電極がついたもので、血管から心臓に挿入し、詳細な心電図を取ることができる。さらに心臓に電気刺激を与えることで不整脈の原因箇所を特定することができる。

・経カテーテル左心耳閉鎖術

左心房の左心耳とよばれる袋状の部屋を、カテーテルを通して特別な器具を留置し閉鎖する治療。心房細動によって発生する血栓の多くが左心耳内に形成される。

【CVS】

・CVS（Cardiac Vascular Segment：心臓血管外科関連）

弁などの心臓の構造的な疾患及び冠動脈や大動脈の疾患を外科的に治療する分野。当社グループのセグメントのひとつ。

専門用語集④

・大動脈瘤

全身に血液を送る体の中で最も太い血管（大動脈）の一部が膨らんで瘤（こぶ）のようになる病気。瘤が膨らみ続けると、破裂し死に至る危険がある。

・大動脈弁狭窄症

心臓には血液を送り出す際に開き、出し終わると閉じて、血液の流れを一方向に維持する4つの弁があり、この弁の病気を弁膜症という。大動脈弁狭窄症は弁膜症の一種で、動脈と心臓の間にある大動脈弁が硬くなって開きが悪くなり、十分な血液を全身に送り出せなくなる病気。

・ステントグラフト内挿術

ステントグラフト（金属製のバネがついた人工血管）を大きな開創をせず血管内に挿入し広げることで、瘤への血流を遮断し大動脈瘤を治療する方法。

・TAVI（Transcatheter Aortic Valve Implantation：経カテーテル的大動脈弁留置術）

折り畳んだ人工弁をカテーテルの先端に装着し、心臓の中まで運び、硬くなった大動脈弁の上に人工弁を留置する治療法。胸を開かず、心臓が鼓動している状態での治療が可能。

・冠動脈バイパス手術

一般的には心臓バイパス手術とも言われる。心筋梗塞や狭心症などを外科的に治療する方法。胸を切り開いて、冠動脈に新しい血液の迂回路（バイパス）を作り、血流を回復させる。バイパス用の血管には、胸の内側の動脈や、胃の動脈、太ももの静脈などの血管が用いられる。心臓を停止させ、人工心肺装置（ポンプ）を使用して手術を行うオンポンプ手術と心臓を動かしたまま手術を行うオフポンプ手術がある。

【PPI】

・PPI（Percutaneous Peripheral Intervention：経皮的末梢血管インターベーション）

皮膚から（経皮的）、血管内にカテーテル等の医療機器を挿入し、狭くなった四肢等の血管を押し広げ、血流を回復させる治療法。また、当社グループのセグメントのひとつ（末梢血管疾患関連）。

・末梢血管疾患

末梢血管疾患とは、足や腕などの四肢の血管に生じる病気の総称。主なものに、閉塞性動脈硬化症や下肢静脈瘤等がある。

・閉塞性動脈硬化症

主に足（下肢）の動脈に狭窄や閉塞が起こることで、血流が悪くなり、痛みを伴う歩行障害が起きる病気。

・シャント

腎臓病の治療で血液を体外に取り出し、機械で老廃物や過剰な水分の除去、体液のバランスの調整等を行い、きれいになった血液を体内に戻す血液浄化を血液透析と呼ぶ。血液透析を行う際、大量の血液を短時間で安全に取り出す為に動脈を静脈に縫い合わせた血管をシャントと呼ぶ。

・PTA（Percutaneous Transluminal Angioplasty：経皮的血管形成術）

経皮的に、狭くなった末梢血管を広げ、正常に近づける（形成）治療が開始された頃の血管内治療の総称。近年では、PPI（経皮的末梢血管インターベーション）と同じ意味で使われることが多い。

・PTAバルーンカテーテル

形状・使用方法等はPTCAバルーンカテーテルと同じで、末梢血管の狭窄等に使用する。

専門用語集⑤

・末梢血管ステント

形状・使用方法等は冠動脈に使用するステントと同じだが、動きの多い足の血管等に使用するため、柔軟性・耐久性に優れている。

・薬剤被覆バルーン（DCB：Drug Coated Balloon）

形状・使用方法等は薬剤溶出性バルーン（DEB）と同じで、末梢血管の狭窄等に使用する。

【DMS】

・DMS（Diabetes Mellitus Segment：糖尿病関連）

糖尿病を治療する分野。当社グループのセグメントのひとつ。

・I型糖尿病

すい臓のインスリン分泌機能が壊れることにより、インスリンが分泌されなくなるタイプの糖尿病。

・II型糖尿病

肥満・運動不足・ストレス、遺伝的要素などにより、インスリンの分泌量の減少やインスリンの作用の低下が起こるタイプの糖尿病。

・インスリンポンプ療法

プログラムに従って持続的にインスリンを注入する携帯型の小型医療機器（インスリンポンプ）で、血糖値をコントロールする糖尿病治療法。24時間、注入し続けることで、生理的なインスリン分泌に近い状態にする。

【脳外科】

・脳外科

主に脳や頸部（首）の血管の病気を治療する分野。当社グループのセグメントのひとつ。

・脳動脈瘤

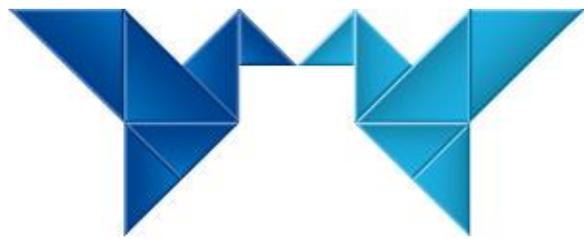
脳動脈に瘤（こぶ）が発生する病気。破裂すると、死に至る危険性が高い。

・塞栓用コイル

非常にやわらかいプラチナ製の糸状の医療機器。カテーテルに収納した状態で目的部位まで運び、脳動脈瘤内に詰めて破裂を防いだり、血管の血流を遮断させるために使用する。

・脳血栓除去デバイス

カテーテル先端のステントで脳血管内の血栓を絡めとり回収するもの。血栓を吸引して取り除くタイプのものもある。



WIN PARTNERS

WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

ロゴマークについて

幸せの象徴、青い鳥が向かい合ってつくる「W」
それは私たちの頭文字であり、企業や人とのパートナーシップを表しています。
三角形はひとつひとつの企業を表し、より良い社会に向けて自在に形を変え、
進化しながら高みを目指す私たちの企業姿勢を伝えます。

この資料は投資家の参考に資するため、ウイン・パートナーズ株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2021年11月27日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先

ウイン・パートナーズ株式会社 社長室

TEL : 03-3548-0790 FAX : 03-3548-0791

HP : <http://www.win-partners.co.jp>